



事例を聴き、ワークショップで深めよう

# そのとき、 子育て支援者は

～災害時の支援拠点の機能と、支援者の役割を考える～

日時：2013年12月9日（月）10：40～16：00  
10：30 受付開始

場所：名古屋市子ども・子育て支援センター（758 キッズステーション）マルチルーム  
（名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク ビジネスセンタービル6F）

対象：子育てサークルリーダー、子ども・子育て支援を行っている人、関心のある人なら誰でも。

★当日は支援拠点および居住地域等の避難所マップ、ハザードマップをご持参下さい。

★参加費無料／定員になり次第締め切ります／当日は参加者に「のびすく仙台」作成の「子育てファミリーのための地震防災ハンドブック」をお渡しします。

仙台市の支援者は、かつて阪神淡路や中越での地震を経験した支援者に学んだことを今回活かすことができました。東日本大震災から2年半。記憶が薄れ始めた人も少なくない今だからこそ、私たちはあの日仙台で何が起きたのか学び、今名古屋でできることは何かを考えたいと思います。

午前は名古屋と同じ大都市である仙台で、親子たちが、支援者が、震災とどう向き合ったのか、大都市圏だから起きたこと、支援拠点が果たす役割についてお話を聴きます。

午後からは名古屋市南区の子育て支援者たちが取り組み始めた事例をうかがい、後半は参加者自身がアクションプランを作るワークショップを行います。

## ■事例報告／講師■

廣内 大助氏

（信州大学教育学部准教授、愛知工業大学地域防災研究センター客員准教授）

伊藤千佐子氏

（仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく仙台」館長、  
NPO 法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク代表理事）

新田 泉氏（NPO 法人子育てなごや事務局長）

山田 一枝氏（南区笠東学区主任児童委員、笠東ボラネット代表）

## ■進行／講師■

大西 宏治

（NPO 法人子ども&まちネット理事、富山大学人文学部准教授）

…申込書（FAX052-768-5914（子ども&まちネット）メール komachi-net@nifty.com）へお送りください…

（ふりがな） お名前	連絡先（電話、メール等）
ご住所	
ご所属（拠点の区／町名も）	講師に聴いてみたいこと